

1. 潮風公園・台場公園の特性と基本理念

緑の拠点でもある潮風公園

からお台場海浜公園を経て、

歴史の重みを持つ台場公園

までの一帯は、臨海副都心の水と緑のネットワークを創出する中核的役割を担う公園群



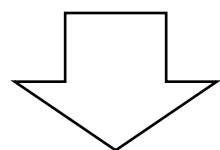
潮風公園

- ・東京港に面し緑と海の景観が美しい公園
- ・広大な芝生広場を有し多彩なイベントで賑わう公園

台場公園

- ・国指定の文化財公園
- ・東京湾の景観を味わえる観光スポット

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、国内外から多くの方が訪れることが予想され、これまで以上に関心が高まっている。



上記の特性を踏まえて

管理運営における基本理念

潮風公園・台場公園と連続するお台場海浜公園の水と緑のネットワークを活かすとともに、都民、NPO、企業等と連携しながら、公園の持つ様々な資源を最大限に活用し、公園の魅力やこれを取巻く地域の価値を一段と高めていくような管理運営を推進

2. 基本理念を実現するための管理運営方針

(1) 水と緑のネットワークを最大限に活かす公園づくり

潮風公園からお台場海浜公園を経て、台場公園に至る空間は、水と緑が美しい都市景観を創出していることから、水と緑のネットワークの魅力を重視した管理運営や利用促進策を展開します。



(2) スポーツによる健康増進の場となる公園づくり

オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、お台場海浜公園等とのネットワークを活かし、多様なライフスタイルに対応したスポーツイベントを開催し、都民の健康づくりに寄与していきます。



(3) 歴史・文化を活かした公園づくり

様々な目的で臨海副都心を訪れた多くの方に台場公園の史跡や日本の伝統文化を学び・楽しんでいただく取り組みを行い、歴史・文化を活かした公園づくりを行います。



(4) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた公園づくり

公園管理所で近隣の商業施設や観光スポットの情報を提供するなど、管理する公園に留まらず周辺地域を含めた案内機能を備えていきます。また、公園を訪れるすべての方が快適に利用できるよう、受付での多言語化、案内板の多言語表記やピクトグラム化を進めます。

3. 要望把握と業務への反映

(1) 苦情・要望を、様々な手段で把握

メール、電話、現地でのスタッフによる直接対応及び受付・公園内に設置したご意見箱、CSアンケートにより、積極的に苦情・要望を把握します。

(2) 苦情・要望を、管理業務に反映

- 「苦情要望評価委員会」で対応状況や再発防止策を検証・評価
- 苦情・要望の対応結果はデータベース化して蓄積することでスタッフ間で共有し、サービス向上に活用
- 利用者から寄せられた苦情・要望の情報管理を徹底

4. 公園の魅力向上と利用促進を図るための取組

水と緑のネットワーク

○潮風BBQ&お台場釣り教室
潮風公園のBBQとお台場海浜公園の釣りをセットで体験できるイベント



スポーツ

○環境学習事業

海辺や豊かな緑の資源を活かした環境学習

○しおかぜスポーツ事業

新たにスポーツエリアを設け、気軽にスポーツをする機会を提供



○多様なランニングイベント

お台場駅伝競走大会、お台場海浜マラソン他

歴史・文化

○門松づくり教室や雪吊りの実施
日本の伝統文化を体験、披露



○台場史跡パネル展

台場公園の歴史をお台場海浜公園内でパネル展示

多彩なイベント

○ジャズ等の音楽祭

様々なジャンルの音楽イベント

○犬のいろはしつけ&マナー

ゲーム等により犬のしつけを学ぶイベント



5. サービス水準向上のための取組

(1) 臨海副都心の総合的な情報発信

○臨海副都心全体を楽しむための近隣施設のイベント情報等を多様な媒体で発信

(2) 各種公園マップの配布

○ビューポイントを記載したマップ、ウォーキングコースマップ、バリアフリーマップなど

(3) ホームページ・SNSによる情報発信

○イベントカレンダーや公園の見どころなどをホームページで発信
○SNSを活用したタイムリーな情報発信
○ホームページを多言語化

(4) 多言語対応した受付案内やピクトグラムを活用

○指さし会話集などを活用した受付での多言語対応
○公園を利用しやすい環境にするためのピクトグラムの活用

6. オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

おもてなし

○情報発信ツールの多言語化

○多言語での受付やピクトグラムの活用



スポーツに親しむ機会の創出

○ランガールナイト(ランニングイベント)
○しおかぜスポーツ事業(仮称)



日本文化の発信

○雪吊りの設置

○門松づくり教室



都民・企業との協働

○都民や企業との環境美化活動



7. 快適性と安全性を重視した維持管理

(1) 利用者に満足いただける快適性

○きめ細やかでタイムリーな清掃の実施
○剪定作業により発生する枝葉を堆肥化し、土壌に還元



(2) 予防管理による安全性の確保

○独自の「パークメンテナンス方式」を活用した計画的な修繕、きめ細やかな維持管理
○エリア機能に合わせた樹木剪定で園内照度改善や見通しを確保



8. 事故、自然災害や感染症を防ぐための対策

(1) 事故を未然に防ぐ予防策

○受付窓口、巡回時での声掛けや園内放送による注意喚起
○予防管理を柱としたパークメンテナンス方式による維持管理の徹底

(2) 自然災害や感染症に対する対策

○台風、大雨等が予想される場合は、事前に園内全域を巡回点検を実施
○アルコール消毒液や虫よけスプレーを管理所に設置し、感染症予防を来園者に注意喚起